

議会報告会実施報告書

開催日時	令和4年 10月 22日（土） 10時00分 ～ 12時00分		
会 場	日進市民会館 小ホール・展示ホール・研修室	参加人員	41名
出席議員	19名（欠席1：ごとう議員）		

役 割 表

	担当名	氏 名		担当名	氏 名
1	司会	福安副議長	12	第2部 総務文教委員会 進行係	大橋委員長
2	開会あいさつ 趣旨説明	青山議長	13	第2部 福祉厚生委員会 進行係	小野田議員
3	第1部 総務文教委員会 報告者	川嶋議員	14	第2部 市民建設委員会 進行係	武田議員
4	第1部 同報告補佐 (PC) 係	大川副委員長	15	第2部 総務文教委員会 記録係	舟橋議員・水野議員
5	第1部 福祉厚生委員会 報告者	山田副委員長	16	第2部 福祉厚生委員会 記録係	山田副委員長・萩野 議員
6	第1部 同報告補佐 (PC) 係	坂林議員	17	第2部 市民建設委員会 記録係	ごとう議員・白井議 員
7	第1部 市民建設委員会 報告者	永野委員長	18	広報係	山根議員
8	第1部 同報告補佐 (PC) 係	宮田副委員長	19	広報係	渡邊議員
9	受付係	山根議員			
10	受付係	古川議員			
11	受付係	渡邊議員			

責 任 者

1	総括責任者	青山議長			
2	設営責任者	小野田議員（議会運 営委員会委員長）	4	進行・庶務責任者	福安副議長
3	場内責任者	小野田議員（議会運 営委員会委員長）	5	記録責任者	山田議員（福祉厚生 委員会副委員長）

○報告事項に関する質問と回答

内	別添のとおり
容	

○意見交換会

内	別添のとおり
容	

令和4年12月20日

日進市議会議長 様

日進市議会報告会実施要綱第7条の規定により提出します。

記録責任者 山田 久美

第11回 日進市議会報告会

日時：令和4年10月22日（土）

午前10時～正午

会場：日進市民会館 小ホール

1. 開会あいさつ

2. 【第1部】委員会報告

(1) 総務文教委員会

テーマ「今、学校に必要なことは何か」

(2) 福祉厚生委員会

テーマ「今求められる子育て支援とは」

(3) 市民建設委員会

テーマ「6次産業化を含むにっしんブランドと地域公共交通自動運転バスの取り組み」

— 休憩・移動 —

3. 【第2部】質疑応答・意見交換会

委員会ごとに会場を分け、第一部で報告したテーマに沿った質疑応答や意見交換を行います。

委員会	会場
総務文教委員会	展示ホール
福祉厚生委員会	研修室
市民建設委員会	小ホール

4. 閉会あいさつ

第2部 市民と議員の意見交換会

総務文教委員会 テーマ「今、学校に必要なことは何か！」

◇質問 ◆答弁 □要望・意見（参加者） ■要望・意見（議員）

不登校、苦登校について

◇第一部の報告から不登校が多いことに驚いた。私共の時代には一切経験したことがない。(ステップアップルームが)「教室に入ることが難しい子どもの居場所になっている」の意味が理解できないのだが。

◆子どもたちは何かしらのストレスがあり、教室には入れないが教室以外のどこかなら何とかなる子もいる。学校に行って勉強するのが当たり前の時代とは違う状況が今の学校にはある。

◇小中学校で、子どもたちがクールダウンできる部屋、ステップアップルームの部屋が確保できる見込みはどのようなか。委員会としてこのテーマを取り上げるなら、当局との話し合いや関連する学校の先生方等との懇談など必要ではないか。情報共有という点から、教育と福祉の連携について議員の立場で、どのようなアクションをしていくのか。

◆10月21日に実施した春日井市の不登校の取り組みについての行政視察も踏まえ、場所の確保については今後検討。現場の先生方との面談は、委員会で協議し実施できるのであれば今後の課題として取り組みたい。情報共有については、オンラインという方法もあるが、先進地に学び新しいやり方を見つけていきたい。

□不登校という大きなテーマに関しては、委員会として、提言と言う形で市に出していくよう取り組んでいただきたい。

◇家から出られないという子に対しては、どのような対応をされているのか。保護者はどうしたらいいのか。

◆学校に相談いただき、担任の先生と上手くいかない場合は、スクールソーシャルワーカーが入って保護者と連絡をとって解決を探っている。また、地域福祉ということでは、社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー(CSW)がいろいろな事例を知っており、CSWに相談するのもよいのでは。

□東郷町では独自に教員採用試験を行った。また、会計年度任用職員である非常勤講師の時給は東郷町を大きく下回る。人材確保の観点をもっと持っていただいた上で、不登校の問題はある。教室と教員を確保していくという視点を早急に盛り込んでいただきたい。

□相野山小学校が全児童245人で不登校がゼロと報告があった。新しく学校を造っていくことや30人学級を目指すことが大事。また、勉強についていけない子に対して、通級指導を含め、子どもに寄り添った対応をして欲しい。さらに、1学年に1人フリーの先生を日進市で採用してもらいたい。

■教員が足りないというのは全国的な問題だが、日進市でもやはり足りていない。委員会として、教員やサポートする人を増やしていこうと願っても、それは市の財政と相談してからということになる。会計年度任用職員の時給は少しでも上げて、よい人材を取ろうと市も努力している。

◇不登校になる原因はいろいろあると思うが、ダメな部分ではなく、よくなったという成功体験があったら教えて欲しい。

◆個人情報なかなか届いてこないというのが実状。朝、どうしても起きられず不登校になってしまった子に対して、一人一台配られたタブレットを活用して、「学校の様子をタブレットで映して家で見て勉強を共有したい」という希望を学校に伝えたことはある。

また、別の事例として、教員の時に担任した中学3年生で、勉強はもう嫌だという子に、職場体験の延長の形での受け入れ会社を探し、就職に繋げた子もいる。

□タブレットについては、本当は否定したい。繋がることはいいけれども、人と人との対面、コミュニケーションが「繋がっているからいい」になってしまって、一方的に与えるだけの教育になって、今まで以上にできない子を増やし、ますます学校へ行かなくなってしまわないかと危惧する。

□子どもたちに挨拶の言葉をかけ、「目は口ほどにものを言う」なので、子どもたちと話す時は目をみて話している。ぬくもりが感じられる接し方を子どもたちに与えていきたい。そうすれば、子どもたちもどこかで一步踏み出せるように思う。

□相野山小学校は地域で子どもたちを見守り育てるという意識が強い。地域力で子どもたちを育てることはとても大事。議員さんたちも共有してもらいたい。

◇保護者等が子どもに付き添って学校へ行きたいという場合、日進市ではだめなのか。

- ◆実際に小4の我が子と一緒に毎日通学し、教室の廊下に置いた椅子で見守られたお母さんがいました。可能だと思う。
- 学校へ行かせなきゃいけないとか、教育を受けさせなきゃいけないという考えの発言が多かったが、人それぞれの性格とかいろいろあって、不登校も許されるべきと思う。家庭でそれぞれが学べるような体制、環境を作っていく方が望ましいと思う。
- ◇先生の負担軽減という点からも、学校での部活動に関して、日進で今何か動きはあるのか。
- ◆部活動に関しては、学校の方も今かわりつつあり、先生だけに負担がいくような状況は徐々に解消されていくと思う。

以上

第2部 市民と議員の意見交換会

福祉厚生委員会 テーマ「今求められる、子育て支援とは？」

◇質問 ◆答弁 □要望・意見（参加者） ■要望・意見（議員）

日進市立東小学校増築棟

◇放課後こども総合プランについて、アフタースクールには民間のつくった学童、子ども教室・児童クラブがあるが、一般には中々わからないと思う。仕組みが違うが同じ学校内にある。

児童クラブは自由性でフォローが充実しており、定員制で十何人に対して1人と言うようにスタッフがついている。

子ども教室は学業が終わった後の見守りで職員の配置は多くても3人で良いと担当課から言われた。

東小、相野山小は問題ないが、赤池小、南小は人数が多く、児童クラブは定員制なので良いが、放課後子ども教室は1学期は特に多く、90人の時もある。3人での対応は何かあると3人では無理。1年生だけでも30～40人おり、来る子の確認をし、迎えに行く。

1学期だけでも子育て支援課の職員が、応援と勉強がてら来てほしい。

◆意見として1学期は多いから先生を増やしてほしいと議員から提案してほしいという事ですね。

◇今の時期だと多い日で50人。3人で対応するが怪我とかもある。

◆50人になると3人では不足という事ですね。

◇50人で5人の配置をしている児童クラブがあるが、子ども教室にも発達障がいの子も達や足がチョット不自由な子も来る。3人で対応するのは無理だと思う。

◆我々議員も色々と参考になりました。

□テーマに絞る制限をされると、視察した事の報告であり「ああそうですか」と言うしかない。子育てについての問題を「聞きますよ」と言うようにしていただければ色々な意見が出る。しかし、視察報告だけのテーマでは無理。現実にこのテーマについて聞いていけば「9, 135万円だったのですね」で終わる。委員会報告の在り方には疑問がある。子どもに関わる仕事をしているので、東小の方にも足を運んでいる。子どもを見るという時には、大人を少なく見積もっても10人に1人の配置が必要だ。この施設にこの職員ではなくて、子どもがこれだけ来るのであれば、それに対して「これだけ必要だ

ね」という考え方を持っていただいて、それを行政の方に発信していただきたい。
これを意見として取り上げてください。

- はい。わかりました。テーマという事について、子育て支援は、すごく広いものであり、それを全部報告しては時間が足りなくなります。日進の財政の4割近くを所管し、事業数も多いという事でテーマを絞ったわけです。
- 配置基準というのが法律・国の制度で決まっているが、今そのような現状があることを聞いたのでそこから考えていけないといけない。子どもの人数に対する職員の人数という考え方と施設の広さに対する子どもの数が例えば、他の保育園、学校施設の実情から合わなければ、それは出し合って変えて行く立場で考えていく事が大事なかなと思う。
- ◇実際問題なのは、1か所に100人以上来ているというのは、スタッフが10人いても面倒見切れない。例えば、児童クラブと子ども教室を一緒にすると、100人以上来る事になります。一クラス50人くらいになり、140人くらいが一つの部屋で過ごす事は良くなく、問題が起きます。共働きの家庭が多くなり、今のシステムは各家庭の方からの要望が強い。子ども達を一つの児童クラブや子ども教室にして1か所で見ると言うのはとても無理。
- ◆日進市内には民間も入れると児童クラブと子ども教室は30ちょっとあります。児童クラブがその内の1/3で30としたら20はある。子ども教室はその残りの10という事です。10の施設の方に定員が無制限です。
- ◇児童クラブに入れなかった子どもがいて、例えば児童クラブが45人定員とすると、80人くらい待機となり、児童クラブをやめて行く子どもがいて、待機の子も入る事ができるために放課後子ども教室に来ている子が多いです。
- 人数的にハードな事もあり、その施設の広い所がないこともわかりました。勉強不足でしたが初めてよくわかりました。
- ◇仕事に携わっていて、北の子ども教室が一番不便な場所にある。北小学校は門からずっと坂を上り、建物は二つ。子ども教室のある北の校舎は階段を上がって、北の建物の裏をずっと真っ暗な所を歩いて一番端っこの入り口から3階まで上がる。お母さんたちよく我慢している。家庭科室であれば駐車場から坂を100m上がって少しで行ける。それなのにまた上って真っ暗な裏の通路を歩いて、一番端の一番うへの3階まで上がる。それが可哀そう。働いているお母さんが気の毒。学校は自分たちが使用する部屋を貸したくないという気持ちは分からなくはないけど。
- ◆北学区はすごく人口が増えている。どうしても教室が空いていないのが現状のようです。本当に教室が足りていなくて困っている。
- ◇本当にあそこを何とかしてあげたい。利用される方は本当に大変。

■実際に働いている方が参加して下さって、そのような意見をありがとうございます。

◆家庭科室が一番近いですね。北小は山の中なので、どうやってもあれ以上増築できないです。

◇東山の話ですけど「きのこクラブ」と「東児童クラブ」の中に子ども教室と言うのがあるという事ですが、ここには書いてないんですけど

◆増築棟は放課後児童クラブだけしかありませんが、校舎の方に放課後子ども教室があります。各小学校に1つずつ必ずあります。こども教室はコースによって値段が違いますが、児童クラブは5,200円×1か月。子ども教室はコースによって違い、月1,000円の所もあれば月2,000円の所もあります。児童クラブは留守家庭の児童が対象です。子ども教室は全員が対象です。児童クラブは留守家庭の人です。子ども教室は全員が対象で5時まで、児童クラブは6時までです。

◇5時までという冬はもう暗いですよね。子ども教室の方は自分で帰って行きますよね。その辺はもう、ご家庭でどちらにするか判断してもらってですね。放課後子ども教室の夏休みはどうなっているのか。

◆朝からやっている。夏休みだと夏季料金がかかります。

◇きのこクラブとひがし児童クラブは、民間か公設かで内容は全く違うのですか。

◆きのこクラブの運営はリベラス、ひがし児童クラブはアシストに委託して運営しています。リベラスはもともと、保護者たちが学童保育所を作りたいということが発祥となっていて、自主的運営で子ども達の為にやる内容を考えてやっています。アシストは市民会館等を運営しており、市が100%出資の株式会社です。テナント的に差がありますが、内容は運営の全体によって少し違うようです。

◇東郷町では小学校3年生まで、町長の見解で色々な諸条件が合えば、6年生までは預けていいと聞いている。日進市はどうか。

◆市内の小学校に通う1年生から6年生までです。

日進市障がい者福祉センター

◇社協の話として、ある程度通った子どもは、その障がいに関わらず一人でも通園に切り替えるという事でしたが、これは文章だけを見ると希望者はと言う事ですけど、一人で通いたいと保護者の方が申し出でると、通えるようですが、障がいの度合いが高くて全員一人でやっていけるようにしていくとの説明でしたが、障がいの度合で、どんなに頑張っても一人で行く事は無理だという子がいると思う。

◆一人で通学をするのではなく、すくすく園の中でその時間帯は過ごすという事です。最初は慣れるまでは親子でスクスク園になじんでいただき、できる事が増えてからお母さんの付き添いがなくても園で過ごせるという事です。

定員が68人で現在151人となっているのに変だと思われている方がいると思うが、要は1週間の内で2日通う方、6日通う方もおり、延べ人数が151人でいわゆるキャパシティとしては68人と言う意味です。

◇151人の登録人数で、その内1日の限度が68人と言うことですね。

◆午前と午後からの時間帯があるので、トータル151人で普段は151人も来ません。

以上

第2部 市民と議員の意見交換会

市民建設委員会 テーマ「6次産業化の推進と自動運転バスの実証実験」

◇質問 ◆答弁 □要望・意見（参加者） ■要望・意見（議員）

6次産業、農業振興について

◇埼玉県加須市のように6次産業の推進を日進市で応用できるのかどうか。

農業が衰退し休耕田も多い。あと10年たったら枯れ草だらけの田園都市になるのではと心配している。

◆日進市は6次産業化にあたり、補助金上限10万円出している。加須市は上限100万円出していた。

日進市の場合、「こはるもち」という餅米を利用したお団子を作ったり、障害者施設で「黒ショウガ」を栽培して、「黒ショウガ酢」として210本ほど販売することになった。今後、地元業者「あっち」と「こっち」をマッチングさせて、6次産業化を随時進めていく予定。6次産業が進むと「ふるさとの納税」の返礼品としても扱える。

◇日進市の農業振興策についてはどうか。

◆休耕田が多くなりつつある。JAと農業法人が農地を地主さんから預かって米作りをやり、休耕田を少なくしようと進めている。

以前、3反、1反田んぼと耕地整理をした。機械化されて効率が上がる。しかし、小さい田んぼ等は課題があるので、もう一度見直そうかと動きがある。国の予算も活用しながら進めていきたい。

◇加須市は、6次産業以外に農業にかかることも進んでいると思う。日進市が学べる政策はあったか。

◆参考になるところがいくつもあった。加須市はブランドをつけたのが約70品目あるが、お米をそのままではなく、お米のアイスクリームや高校と組んで「アスメシカレー」のレトルト食品を出していたり、防災用などでもある「パックご飯」など、加工している。一ひねりした物が効果ある。

日進市でも、例えばいちじく等を「いちじく大福」とか、もう一ひねりした加工品がいい。魅力的で美しくて、みんなが買いたいと思える商品がたくさんでき、流行に乗せていくことが大事だと思った。また、加須市の場合は、個人の生産者さんとか、梨の組合

さんとか活発に動いている。学ぶところがあったので、まとめて市に提案していければ、と思う。

- ◇日進市の場合、1次産業の基本は農業。しかし、農業の後継者がいなくて未来は暗い。農協や農業法人に委託するというだけではなく、市としての具体的な対策が必要だ。例えば、市として、愛知用水の使用料の補助を。
- お願いですが、皆さんが思ったことをぜひ「議会だよりに」。もう少しページ数を増やして、今日の報告より詳細なレポートを読みたい。あと、「産直」。日進の米を、市民が契約をして買い取る。一定割高になるかもしれないが、市民が日進の農業を支援するという仕組みを作れないか。日進市としても議会としても、日進市の農業の未来に対して危機感が欠けている。このままだと、雑草だらけの地域になりかねない。具体的な策を考えてほしい。
- ◆国の支援策で新規営農者に手厚い補助がある。これを利用して、今トマトハウスや苺ハウスをやる若者もごくわずかですが出てきている。また10月26日の臨時議会で、地方創生臨時交付金について審議する。今、肥料費が値上がりに対し、市独自で補助金をもうけて支援していきたい。またご提案あれば、お近くの議員へ。委員会としても議会としてもバックアップしていきたい。
- 農業の話は農業委員会でいろいろ聞くが、議員さんの考えとあまりにも差がある。しっかり調査検討してほしい。あいち尾東ができて22年になる。中身が変わっていない。単価が下がり、危ないから合同で瀬戸、尾張旭、日進、長久手、東郷、豊明であいち尾東をつくった。しかしここ5、6年の間に経営悪化してきて、東郷支店は廃止、ATMなども縮小。一緒にやるのは消防署も尾三にしている、人件費削減か何か。そういうことを市議会議員の方もっと理解を含めてやっていただきたい。お願い。
- 日進は緑のまち。議員の皆さんは農業をやっている個人から意見を聞いたことはあるのか。農業はやるたびに赤字。高齢化。やっている人は「やりたくない」と。緑ではなく茶色の休耕地。実際は、休耕地だけでもすまない。隣に迷惑かけないように草取りしないといけないし。個人の方ができなくて、田んぼを売りたいくても売れない。法人に任せることになる。国として、市として法人農業に支援を向けているのか。個人ができなければ、法人がやればいい、という考えか。米価も安く、将来性がない。私も一生産者としてやっている。何年も前からマイナスを抱えてやっている。

自動運転バス、くるりんばすについて

- ◇日進市の自動運転バスの検討スケジュールは。どこまで、どのように本気で考えているのか知りたい。二つ目、くるりんばすとの関係は。置き換えなのか、隙間を埋める感じで考えているのか。

◆今決まっていることは、国の予算8,000万円、バス車両の購入、実証実験の経費。今年度の実証実験をやる。どこを走る、どのぐらいの距離、運賃などはまだ決まっていない。くるりんばすとの兼ね合いは、自動運転バスが軌道にのれば、例えば、幹線を自動運転に任せて、その他の枝葉をくるりんばすを走らせるとか。自動運転バスを1つの公共交通機関として考える。「横に動くエレベーター」という表現もあるが、ゆくゆくは家の前まで迎えに来れる交通を目指していく。いつ、どのように、どれぐらいでやっていけるのかは、これからの課題。

□日進市はトヨタ自動車とも近い。法人の実験には積極的に手を上げ、全国でも先駆けてやってほしい。

■全く同感。今回はフランス製の車体を購入だが、トヨタの隣で外国産の車を走らせるのはどうなのかな、と私も思っている。

◇境町の自動運転バスで、アプリとか顔認証システム等がどのように使われていたのか。

◆スマホでアプリを使い、自動運転バスの定常運行しているのは日本で初めて。国の予算もとりながら。定常運行に向けて日進でも実証実験をやっていこうというのが大前提。しかし、現状では境町でも（完全な）自動運転はやっていない。ただ、定常運行している中でいろいろとみえてくる。将来的に、アプリを使って「私は何時にココに行きたい」ということができれば一番よいのでは。

◆境町への国の補助金の中に、「ビッグデータ活用による預託流動分析実証実験事業」というのが約1,370万円。この補助が、顔認証につないでビッグデータをつくるとか、調査してやっている。

□自動運転は、何を目的にして運行するのか。くるりんばすとの同時運行とのことだが、くるりんばすについては不安要素がある。名鉄電車への乗継ぎなど、何をターゲットに運行しているのか。私は、赤字でもいいから弱者のためにくるりんばすは運行していると思う。そうすると、地下鉄や電車に1~2分で連結しているといっても、とても間に合わない。また、先日、金曜日に日進駅から市役所まで乗ったときに、「バスがちっとも来ない」と相談があった。「アプリでみても何にもわからない」。名鉄バスに問い合わせたら、「故障したので動きません」と言われた。1時間待ったと。その対応はどうなっているか。どんな問題点があるか、今までどんな問題が起きたのか、しっかり把握して目の前の課題の対応が大事。自動運転をやるのは、デンソーさんやトヨタ自動車に近いからか。実際、黒笹の方までは一番自動運転がやりやすい。交通量も少ないし環境も最適。しかし、何のためにやるのか。弱者のために自動運転、くるりんばすをやるのか、きちんと把握して。「65歳以上は無料にしますよ」との提案もある。当然赤字だが、その予算をうまく取ってこれば、たくさんの人に乘っていただけるし、将来的に電車につないでまちの発展をつくることもできる。

□自動運転は、時代に沿って進めていかなければならない。ただし、くるりんばすが市民の足として稼働している。今までは部分改正ということで空白地帯にバス停設置。来年度はくるりんばすの本稼働。現状はくるりんばす7台稼働。1時間に1本の今の7台の現状で皆さんから苦情が出ている。アンケートやっても7台での苦勞が分かる。自動運転を採用する前に、くるりんばすをどうするか、市民目線で考えないといけない。

◇自動運転バス。予算8,000万円。バス代金5,000万円。相当の金額だが、一方、くるりんばすは1億2,000万円で7台。来年度の改正、朝夕は通勤に間に合うように組まれていて、昼間は高齢者が移動できるように、と工夫されている。でも、バスが7台しかない。前回の市長選挙では、「くるりんばす倍増」計画を言われた。倍増とは、7台を14台にするということ。当然予算も。それだけ福祉に力を入れられるすごい市長さんだと思った。議員さんからもっと「くるりんばす倍増してくれ」と言ってほしい。倍増できるようにバックアップを。

◆自動運転バスは、国から8,000万円、市から1割、9割の補助金でやっている。くるりんばすを含めて市民の足をどうするのか、我々も勉強していく。

◆日進市全体を見ると、真ん中は調整区域。くるりんばすだけで全域を拾っていくのは難しい。いま、デマンドタクシーの実証実験もやり、自動運転バスも車体を買ってやる。また、名商大のスクールバスへの乗車も実施。

地域福祉の方ではもっと細かい移動を、と地域の支えあい活動の中で、移動支援が5カ所、6カ所と実施をしている。複合的に組み合わせて大きな交通を作っていくことをみていかないといけない。

自動運転バスより、くるりんばすの小さなバスを何台か買った方がよいのでは、というご意見もいただいている。皆さんの意見をきちんと伝えたり、私たち議員も実際に乗って調査をしていかないといけない。

◇来年度のくるりんばすの改定を含めた日進市全体の公共交通の改定の中に、まだ自動運転バスはないですね。実証実験は何年ぐらい続けるのか。単年度の予算はどれぐらいで、なぜ賛成されたのか伺いたい。くるりんばす岩崎線を見ると、市役所を出て北部福祉会館で止まってしまう。名鉄バスが45分しか走れないため。市役所へ戻ってくると45分以上かかるのでバスがいけない。路線を分けるしかない。バスが必要。今の近藤市長が「くるりんばす倍増」と打ち立てた。議会では「倍増というのは台数増やすことではない。予算を増やすことではない」と言った。何を倍増するのか。今のくるりんばすの台数で、よりよい体系を作れるのか。

◆自動運転バスは単年度ごとにやっていく。今、データ収集の段階で、3年後、5年後に実施ということは決まっていない。初年度は、最初の8,000万円の中に運行経費が入っている。2年目からは今のところ運行経費に1,500万円ほど予測の段階。境町のことも踏まえて。

◆くるりんばすの倍増計画は、今の台数で利便性を良くして倍の人に乘っていただく、というのが大目標。くるりんばすは、一般財源から出して福祉のために使っている。経費の25%の乗車賃で、75%を市が持つというのが福祉だと私は考えている。倍増計画は乗っていただく人を増やすと、ということだと。

◆自動運転バス、国に報告を今年度出す。実験は1月から2月で、いろんなことをやってみると。車は5,000万円でボードリーという会社が持っている。年明けの2ヶ月ぐらいで集中的に実証実験をやると聞いている。

□くるりんばす7台体制は、担当課も四苦八苦して、もう限界がきている。

◇くるりんばす利便性は悪い。藤島で集合地区があるところで移動スーパーをやった。藤島地域にバスをいれることが運行上できないので、デマンドの車を使うということになったが、車は？運転手はどうする？事故ったときに誰が責任をとるの？とか問題がある。移動支援を各地区でやるのは難しい。どういう考えなのか。

◆国、県の補助を受けてやっている。運転手はボランティア。高齢、事故の問題、心配しているのは事実。地域ごとでコミュニティを盛んにしてやっていくことかな、と。ただ、事故の問題など私も認識している。

◇くるりんばすをもう2台ぐらい用意してほしい。循環線をもう少し、環状線的に西まわり、東まわりとかにして、役所やスーパーに廻るようにしてほしい。

◆伺っておきます。

□現場の声を聞いてほしい。くるりんばすに乗って体験して。日曜日にくるりんばすを利用して米野木駅に行き、名古屋に行った。でも、米野木駅についたら、電車が行った後だった。

□くるりんばす利用者倍増、同感とのことだが、倍増できるか、と真剣に考えてほしい。今のままだとできない。かつて年間で40万人乗車。今コロナもあり20万人。料金倍になって、路線が不便になって、みんな乗れなくなったと言っている。市長が「倍増」言ったのは、市民の願いがあったから。市民の願いを実現していくのが議会の仕事。先ほどふるさと納税のことも言われたが、増えた税収、税金を市民のために使うということを考えてほしい。市民は税金を払ってくるりんばすを維持している。でも料金が低い。弱者の利用者が負担しないと成り立たないということはないと思う。弱者のための政治をやってほしい。

視察を通して

◇視察で議員さんが学んできたこと、活かしていきたいことをお願いしたい。

- ◆境町ふるさと納税で45億稼いでいる。どこの企業がどんなことをやっているか全てリストアップしたと。それにより、返礼品になり得るものを全てアタックしたと。日進はまだそこまでやっていない。どこの会社がどんなことをやっているのかリストアップしてアタックしていくといいと思う。ふるさと納税、財務課がやっているが、商工会に対してアプローチがされていなかった。商工会の担当窓口が産業振興課なので、横のつながりを改善するだけでも少し変わると思うので働きかけていきたい。
- ◆6次産業に対する市の補助金が加須市に比べると低い。加須市には、りんご農家、梨農家などの団体がありそういうところに補助金を出している。日進は、1/10しか補助金がない。費用対効果も見ながら、やっていきたいと思っている。自動運転については、日進市としての交通にプラスになると思っている。
- ◆「こんなまちをつくりたい」という首長の思いがたくさんある。境町は24,000人の小さな町だが、隈研吾さん東京オリンピックの建物をつくって世界的に有名な方の作品が6カ所もある。隈研吾作品を見にくるツアーがある、オリンピックで使った施設を持ってきて子どもたちが楽しめるとか、20年住むと町がつくった住宅をもらえるなど、自動運転バスの裏に「こういうまちをつくりたい」という熱い思いがある。市長にも提案したい。6次産業で日進市も一時、エリンギをやりはじめたりしたがうまくいかない。今、濁酒づくりなど動きはあるが、日進だったらお土産はこれ、というのがなかなか育たない。こんなまちをつくりたい、という思いが必要。日進に住み続けることを思うと、丘陵地のまちで車の免許を返上すると孤立してしまう、住民福祉の視点で考えていく。移動にお金をかけるのが本来だが、全部はまわらないので、地域の移動支援もともにやっていく。
- ◆境町の自動運転バス。全国で一番初めに手を上げたまち。相乗効果として、いろんな補助金もつき、ふるさと納税も絡みどんどん税収が増え発展している。先ほどから皆さんが「自動運転バスをやるなら、目の前のくるりんばすを何とかして」と、確かにその通りかもしれない。しかし、将来を考えるとこの地域で初めに自動運転バスをやらないといけないな、と。国からの補助金が出るうちに、やらないと、と強く思った。
- ◆加須市、農業の規模2倍。担当課が一人ひとりの農家さんのことをご存じで、農協のことも知っていて、どうつなげると支援になるのかと一生懸命やっていた。境町の町長は将来性のある方だった。令和3年度のふるさと納税48億円。自動運転バス、全て無料。市の負担0。ふるさと納税で賄っている。日進市が大きく稼げる事業に対しては、議会も応援していきたい。くるりんばす65歳以上無料とかは、かえって手間暇、費用がか

かるので、全て無料となるのがいいと思う。

- ◆加須ブランド。生産者が意気込みをもっている。自動運転バス、これが走ることによって、スピード違反がなくなった、駐車違反がなくなった、などまちの人たちが応援しているのいいな、と。
- 皆さまからいただいたご意見、提案、しっかりと活かしていきたい。また、自動運転バスなど単独の事業で終わらず、繋げていけるようにしたい。

以上